

【重点審議事項の論点整理について（県民生活・土木交通常任委員会）】

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備 考
<p>東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた交流文化の創造とスポーツの推進について</p>	<p>○平成28年5月18日 常任委員会 ・2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けたホストタウン申請について</p> <p>○平成28年6月16日 常任委員会 ・2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けたホストタウン登録について</p> <p>●平成28年7月21日 県内行政調査 (1) NPO法人瀬田漕艇倶楽部 ・スポーツ交流に関する取り組み、施設の概要等について →デンマーク代表ボートチームの事前合宿等の受入実績のある同倶楽部を訪問し、スポーツ交流に関する取り組みや施設の概要等についての調査を実施した。</p> <p>(2) ボート関係者と文化振興に携わる方々との県民参画委員会（会場：県立琵琶湖漕艇場）</p> <p>①執行部から、「2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みについて」説明を受けた。</p> <p>②東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組み等の調査の一環として、県民参画委員会出席者と今後の交流を図るためのアイデアや方法、文化に係る魅力発信の方策等について意見交換を実施した。</p>	<p>東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化とスポーツ両面における具体的な取り組み内容について</p>	<p>○委員からの意見</p> <p>・滋賀県への観光客は、まず京都からという流れの中にある。京都をはずして滋賀という形は恐らく無理。その中でオリンピックの開催に当たって、滋賀をどう表現していくかという視点が必要。</p> <p>●県民参画委員会におけるボート関係者、文化振興に携わる方々からの意見</p> <p>・世界的な大きな大会は2,000メートルコースが標準なので、視察に来られてもアクセス面などは評価いただくが、結局1,000メートルコースということで避けられがちである。</p> <p>・海外とのネットワークを広げる上では、やはり受け入れの土台となる施設がないとPRしにくい。施設面の改善が必要。</p> <p>・県立琵琶湖漕艇場は、観戦スペースが狭い、艇を置く場所がない、艇を出す船台も少ない、駐車場も足りていない、バリアフリー化されていないなど、今後施設上の改善が必要。</p> <p>・滋賀県、大津市は非常にボートの環境としては素晴らしいし、ポテンシャルが十分にある。障害者ボートの活動、障害者スポーツの場づくり、理解や認知を図る上でも大きい。 今後、地域スポーツ化、生涯スポーツ化のために市民を巻き込んでどうやって盛り上げていくかが大事。</p> <p>・琵琶湖を舞台にということが今後のキーワード。オリンピックの開催に合わせたイベント期間の見直しや多くの事業へ参加を誘発することが必要。</p>	<p>(次年度予定)</p> <p>「(仮称) 滋賀文化プログラム」の策定および推進</p> <p>○主な平成29年度当初予算</p> <p>・東京オリンピック・パラリンピック文化プログラム推進事業 (8,958千円)</p> <p>・東京オリンピック・パラリンピックスポーツ交流創出事業 (16,791千円)</p>

	<p>○平成 28 年 10 月 5 日 常任委員会 ・ホストタウンの取組に係る現状および今後の方向性等について</p> <p>●平成 28 年 11 月 8 日 県外行政調査 (1) 宮城県議会 ・2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた宮城県の取組に関する基本方針について ・宮城県 2020 東京オリンピック・パラリンピック推進本部会議等について →早くから東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みをされている宮城県を訪問し、同県の大会に向けた基本方針等の調査を実施した。</p> <p>(2) 公益財団法人宮城県スポーツ振興財団 ・施設の概要等について（ひとめぼれスタジアム宮城等）について ・東京オリンピック・パラリンピックに向けた財団の取り組み等について →東北地方で唯一、東京オリンピックのサッカー会場の一つとして決定されている、ひとめぼれスタジアム宮城の概要や東京オリンピック・パラリンピックに向けた財団の取り組み等の調査を実施した。</p> <p>○平成 28 年 12 月 15 日 常任委員会 ・2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けたホストタウン登録について</p> <p>○平成 29 年 3 月 8 日 常任委員会 ・文化プログラムについて</p>		<p>・滋賀県が育んできた地域の文化、伝統芸能を内外に発信することが大事で、プログラムに入れていただきたい。</p> <p>・文化団体やその活動はすごく幅広いので、どういったことが滋賀県としてこれから 2020 東京オリンピック・パラリンピック以降もきちんと継続してやっていけるか、それが県民の誇りに思えるような活動になっていくか、そのあたりについて、今から考えておかなければいけない。</p>	
--	--	--	---	--

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
<p>国体・全国障害者スポーツ大会および関西ワールドマスターズゲームズ2021を見据えた社会体育施設の整備について</p>	<p>○平成28年5月18日 常任委員会 ・新県立体育館の移転整備について ・(仮称)彦根総合運動公園整備計画の検討状況等について</p> <p>○平成28年6月16日 常任委員会 ・新県立体育館を核としたスポーツ・健康づくり拠点整備の基本的な考え方について ・(仮称)彦根総合運動公園整備計画の検討状況等について</p> <p>○平成28年7月13日 常任委員会 ・新県立体育館を核としたスポーツ・健康づくり拠点に向けた「施設整備検討懇話会」について ・(仮称)彦根総合運動公園整備計画の検討状況等について</p> <p>○平成28年8月10日 常任委員会 ・第2回新県立体育館を核としたスポーツ・健康づくり拠点に向けた「施設整備検討懇話会」について ・(仮称)彦根総合運動公園整備計画の検討状況等について</p> <p>○平成28年9月14日 常任委員会 ・新県立体育館を核としたスポーツ・健康づくり拠点整備に向けた検討状況等について ・(仮称)彦根総合運動公園整備計画の検討状況等について</p>	<p>国体等に向けての社会体育施設の適正な整備内容、事業費等について</p> <p>①新県立体育館 →P 3</p> <p>②プール整備 →P 4</p> <p>③(仮称)彦根総合運動公園 →P 4</p> <p>④琵琶湖漕艇場 →P 5</p> <p>⑤全体整備費 →P 5</p>	<p>【①新県立体育館の整備】</p> <p>・実際、スポーツ関係の現場、協会、団体は、国体を成功させようといういろいろな思いを持ちながらやっている。その整備に当たってはしっかりといろいろな意見を酌んでほしい。</p> <p>・新県立体育館ができた後の収入面も考慮して、例えばコンサートでの集客などのプラスアルファも意識して、楽しく、わくわくする施設となるよう深く掘り下げていただきたい。</p> <p>・特に交通アクセス面については、今後いろいろなことを十分に検討すべき。</p> <p>・アクセスの問題は一番重要だと思う。現状では、イベントなどが重なると渋滞がひどい。1回現地も見てもらって、慎重に取り組んでいただきたい。</p> <p>・PFI方式ありきでなく、まずPFI方式と従来方式のメリットやデメリット、他府県での取り組み事例等の判断材料を基に、各々の方式を比較検討する必要がある。</p> <p>・平成36年の国体で必ず新県立体育館を使用しなければいけない中で、準備段階から直営方式より時間のかかるPFI方式を採用することによってスケジュールがずれ込み、国体間に合わないリスクが非常に懸念される。</p>	<p>「新県立体育館施設整備基本計画」 →H29年3月28日策定済み</p> <p>○主な平成29年度当初予算</p> <p>・新県立体育館整備事業 (49,106千円)</p>

<p>(国体・全国障害者スポーツ大会 および関西ワールドマスターズ ゲームズ 2021 を見据えた社会体 育施設の整備について)</p>	<p>●平成 28 年 11 月 10 日 県外行政調査 新青森県総合運動公園体育館 ・施設の概要等について →青森県で平成 14 年に整備された新青森県総合運 動公園体育館の施設の概要等の調査を実施した。</p> <p>○平成 28 年 11 月 18 日 常任委員会 ・国体等を見据えた今後の社会体育施設の整備方 針等について</p> <p>○平成 28 年 12 月 15 日 常任委員会 ・新県立体育館を核としたスポーツ・健康づくり 拠点施設に向けた検討状況等について ・プール整備にかかる検討状況について</p> <p>○平成 29 年 1 月 20 日 常任委員会(スポーツ振 興特別委員会と合同で開催) ・新県立体育館整備基本計画(素案)について ・プール整備にかかる意向照会結果について</p> <p>○平成 29 年 2 月 8 日 常任委員会 ・新県立体育館施設整備基本計画(素案)について ・プール整備支援について</p>		<p>【②プール整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国体の飛び込みプールは、あとの使用頻度や利用者の数か らすると、別に県内にこだわらないで、県外開催も一つの選 択肢ではないか。 ・全市町に意向照会するに当たって、複数の市町から整備の 意向が出てきた際の対応基準と県の費用負担に関する考え 方を明確にしておく必要がある。 ・「県も事業主体となり市と共同で施設を整備されたい」と 回答している大津市と、今回の回答をもって協議を行うと いうが、「県も事業主体となる」ということであれば、他の 市町も整備の意向を示される可能性が考えられる。こんな 状況で大津市と協議を行うことは、他の市町との信頼関係 を裏切ることになる。 ・国体の整備で市町に対し上限 1 億円という枠を設けてい る中で、プールのみ、こうした原則をはずしたやり方をする と、後で問題を生じるのではないか ・県立施設の代替機能を市町に担っていただくことを踏ま えた上で、県の支援のあり方について整理が必要ではない か。 <p>【③(仮称)彦根総合運動公園の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの 180 億円から 200 億円という概算事業費から、今回 Jリーグ対応でなくなり席数が減少する可能性が出てきたの で、通常考えると事業費を圧縮できるのではないか。くれぐ れもこの 200 億円は超えないようお願いしたい。 	<p>○主な平成 29 年 度当初予算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プール整備 支援事業 (7,000 千円) ・(仮称)彦根総 合運動公園整備 事業 (1,121,600 千円)
--	--	--	---	--

<p>(国体・全国障害者スポーツ大会 および関西ワールドマスターズ ゲームズ 2021 を見据えた社会体 育施設の整備について)</p>	<p>○平成 29 年 3 月 8 日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議第 29 号 滋賀県立彦根総合運動場の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案 ・新県立体育館施設整備基本計画(案)について ・第 79 回国民体育大会 市町競技施設整備費補助金の概要について ・第 79 回国民体育大会 市町の競技会運営費に対する支援の考え方について ・第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会にかかる概算事業費等の状況について <p>→2月定例会議の委員長報告(3月21日)において、国体等の全体事業費、(仮称)彦根総合運動公園、琵琶湖漕艇場およびプール整備にかかる各委員からの意見を報告。</p>		<p>【④琵琶湖漕艇場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和 46 年の建物で、古い建物であり、今後の維持管理面からも改修ではなく建て替えるべきである。 ・今の基準に合わない建物を補強して使うということなのか。法律上、現在での建て替えが困難であることを理由に、既存不適格の建物を改修することに道義的に問題はないのか。 ・次年度策定予定の基本計画で具体的に検討していくとのことだが、本格的に整備する気持ちが感じられない。 <p>【⑤社会体育施設の整備等に係る全体整備費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前から、施設整備のみならず競技力向上、開催経費も含めて国体全体でいくらの経費がかかるのか問うてきたが、琵琶湖漕艇場やプール整備等に係る概算事業費が未定とされるなど、依然として総額が示されない状況であるのは遺憾である、結局ほとんど詰められていないのではないのか。 	<p>○主な平成 29 年 度当初予算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立琵琶湖漕艇場改修整備事業 (15,543 千円)
--	---	--	---	---

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
公共交通の活性化について	<p>○平成28年7月13日 常任委員会 ・公共交通の活性化に向けた重点的取組について</p> <p>●平成28年7月21日 県内行政調査 江若交通株式会社堅田営業所、 大津市地域公共交通活性化協議会 ・地域におけるバス路線の現状等について ・公共交通の課題、協議会の取り組み等について ・デマンド型乗合タクシー実証運行について →江若交通(株)を訪問し、地域におけるバス路線の現状、公共交通事業者としての取り組み等の調査を実施した。 また併せて、大津市地域公共交通活性化協議会事務局から説明を受け、市内の公共交通の課題や協議会の取り組み、デマンド乗合タクシー実証運行等の調査を実施した。</p> <p>○平成28年10月6日 常任委員会 ・大津湖南エリアにおける地域公共交通活性化に向けた検討状況について</p> <p>●平成28年11月10日 県外行政調査 青森県議会 ・地域公共交通網形成計画の概要等について →平成28年3月に策定された県全域を対象とした地域公共交通網形成計画の概要等の調査を実施した。</p>	<p>①人口減少を見据えた本県における公共交通のあり方検討について</p> <p>②大津湖南エリアにおける地域公共交通の活性化について</p>	<p>【①人口減少を見据えた公共交通のあり方検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間でできることは、民間に任せて、その代わりに何か違うものを提供するという発想をそろそろ持つべき。 ・人口や交通網も各地域で各々違うので、もっと現実に即した形で行政も動くほうがよい。最近、高齢化によって外に出なくてもいいようなサービスを展開する局面に変わっているため、従前の施策からの方向転換を検討すべき。 ・人口減少は仕方がないことだが、逆境をプラスに変えて、我々の後世に伝えていくという発想があれば、あり方検討協議会の委員からもっと意見が出たのではないかと。この点で何か示唆できる機会があればよろしくお願ひしたい。 <p>【②大津湖南エリアにおける地域公共交通の活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大津湖南エリアにおける公共交通活性化の説明をいただいたが、総合政策部、県民生活部など関連する部局でそれぞれ検討が進められている、びわこ文化都市公園へのアクセス向上に関して、具体的な施策を盛り込めるのは、土木交通部で策定予定の地域公共交通網形成計画だと思っているので、しっかりと連携した取り組みをお願ひしたい。 ・8年後には確実に国体があるので、その時点で利用者がどの程度ふえるのかということも、このプランを進めていく上で一つの節目になるのではないかと。 	<p>「検討協議会の中 間とりまとめ」 →H29年3月22日 策定済</p> <p>○主な平成29年度当初予算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで考える公共交通事業 (2,521千円) →公共交通条例の研究等 ・地方バス等 対策事業 (230,095千円) ・大津湖南エリア地域交通活性化促進事業 (18,800千円) →地域公共交通網形成計画の策定等

	<p>●平成 28 年 11 月 22 日 県外行政調査 奈良県議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県公共交通条例の概要、条例制定後の具体的な取り組み等について ・奈良県公共交通基本計画等について <p>→都道府県で唯一の公共交通関係の条例である奈良県公共交通条例、奈良県公共交通基本計画および全国初の全県を対象とした奈良県地域公共交通網形成計画の概要等の調査を実施した。</p> <p>○平成 28 年 12 月 14 日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少を見据えた公共交通のあり方検討協議会の検討状況について <p>○平成 29 年 3 月 9 日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少を見据えた公共交通のあり方検討協議会「中間とりまとめ」(案) について ・大津湖南エリアにおける地域公共交通活性化の検討状況について 			
--	---	--	--	--

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
<p>災害等に備えた社会資本整備（土木交通部に係るもの）について</p>	<p>○平成28年10月6日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議第140号 平成28年度滋賀県一般会計補正予算（第3号） ・報第13号 滋賀県流域治水に関する施策の実施状況について ・土砂災害防止対策について <p>●平成29年2月8日 県内行政調査</p> <p>(1) 大津市若葉台急傾斜地崩壊対策事業現場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事の概要および進捗状況等について（若葉台1地区工事現場） <p>→現在工事中の若葉台1地区急傾斜地崩壊対策工事の概要および進捗状況等の調査を実施した。</p> <p>(2) 金勝川補助通常砂防事業現場等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂防長寿命化計画事業における対策必要箇所の現状について ・工事の概要等について（金勝川補助通常砂防工事現場） ・ドローンの概要とデモ飛行について <p>→現在策定中の砂防長寿命化計画事業において今後対策が必要とされる箇所の現状ならびに金勝川補助通常砂防工事の概要等の調査を実施した。</p> <p>併せて、災害時における速やかな状況把握や情報提供、インフラの日常管理等に活用されているドローンの概要の調査を実施した。</p>	<p>県内砂防関係施設の適正な維持管理と土砂災害危険箇所の整備の推進について</p>	<p>【砂防関係施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2,532箇所の事業対象箇所のうち、整備完了が531箇所、21%ということだが、今後5年間の計画では40箇所となり、このペースではとてもこれだけの箇所を整備できないのではないか。 ・平成10年度に比べて事業費が4分の1になっている。待たなしの状態なのに、なぜこれだけ減っているのか。早くお金をかけてやってしまうべき。 ・土木交通部としての事業費も、河川は流域治水の関係での増もあったし、道路もまた最近ふえてはきたが、その中でもこの砂防の分野だけが数字にあらわれていないので、推進をよろしくお願いたい。 ・砂防関係施設の長寿命化計画を策定中とのことだが、対策には多大な経費がかかるので、なるべく早く全体像が見えるように、当委員会にお示しいただきたい。 	<p>（次年度予定）</p> <p>※砂防関係施設の長寿命化計画策定作業を継続実施</p> <p>○主な平成29年度当初予算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂防関係公共事業 (3,562,909千円)